

令和7年度  
前期学位記授与式 式辞



和歌山大学の令和7年度前期卒業式にあたり、学部を卒業し学士の学位を得た18名の皆さん、大学院(専門職学位課程、修士課程、博士前期課程)を修了し修士の学位を得た2名の皆さん、博士後期課程を修了し博士の学位を得た2名の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんのこれまでの努力と成果を心から称え、この新しい門出を共に祝えることを、たいへんうれしく思います。列席の理事・副学長、学部長、そして教職員とともに、皆さんの旅立ちを心よりお祝い申し上げます。また、ご家族やご来賓の皆様におかれましては、これまで本学を支えてくださったことに深く感謝申し上げます。

振り返れば、ここに至るまでの皆さんの道りは決して容易ではなかったと思います。学びの中で多くの課題に挑み、研究に没頭し、ときに壁にぶつかりながらも乗り越え、たくましく成長してきました。課外活動や地域との交流、ボランティア活動や国際的な出会いも、皆さんにとって大切な経験となったことでしょう。困難の連続であったかもしれませんが、それら一つひとつが皆さんを鍛え、本日の学位取得へとつながったのです。その努力に心から敬意を表します。



和歌山大学は「未来を切り拓く知の舞台」を掲げ、知の探究と社会実践の両立を重視してきました。皆さんは在学中、それぞれの関心や目標に基づき、多様な学びや活動に主体的に取り組んできたことと思います。例えば、先生方と協働、もしくは自分自身で地域との連携に向けた自主的な活動、教育現場での実習やボランティアなどです。これらの経験は、知識を深めるだけでなく、仲間と協力し、課題に挑み、解決

策を生み出す力を培う機会となったと思います。これから社会に羽ばたくにあたり、和歌山大学で培った主体的な学びと実践の姿勢を誇りとし、それを全国、さらには世界へと広げていってほしいと願っています。

同時に、和歌山大学は国際交流にも力を注いできました。協定校との学生交換や短期留学プログラム、海外からの留学生との共修は、多くの皆さんの視野を広げる機会となりました。異なる文化や価値観に触れた経験は、今後の人生においてもかけがえのない財産です。国境を越えた協働がますます重要になる時代にあつて、皆さんが国際社会で活躍することを、私たちは心から期待しています。どうか、ここで得た学びを礎に、多様性を尊重し、世界の人々と共に歩む人材へと成長してください。

一方で、皆さんがこれから進む社会は、急速な変化と課題に満ちています。AI やデジタル技術の革新、環境問題、人口減少、そして国際情勢の不確実性など、複雑な課題が同時に進行しています。そのような状況において求められるのは、変化に柔軟に対応する力と、未来を切り拓く創造的な力です。和歌山大学で培った知識、スキル、そして自ら考え行動する姿勢を最大限に生かし、どんな局面にあつても前進してください。

もちろん、成功だけでなく失敗も皆さんの一部です。失敗は終わりではなく、新たな学びの出発点です。困難をどう受け止め、そこから何を学ぶかが、皆さんの成長を決定づけます。勇気を持って挑戦を続け、失敗すらも未来の糧にしてください。

みなさんは、「夢」をいただいていますか。夢に向かってあらゆる努力とチャレンジをし続けてください。夢は人生の道しるべであり、逆境に立ち向かう力を与えます。夢を持ち続け、その実現に向け努力することで、人生はより豊かになり、社会に新しい価値をもたらすことができます。

また、人とのつながりを大切にしてください。在学中に築いた友人や先生方との絆は、皆さんの一生の宝となるはずです。これから出会う新たな人々との関係においても、互いを尊重し、支え合い、共に成長していただきたいと思います。和歌山大学で育んだ友情や師弟関係は、人生を力強く支える礎であり、さらに国際社会で活躍する際の大きな支えとなるでしょう。

和歌山大学は「学びと Well-being の調和」を理念としています。心と身体の健康を大切にし、バランスを保つことこそが、学びや仕事の基盤です。誠実さと倫理観を持ち、人を思いやる心を忘れずに歩んでください。そのような姿勢こそが、社会に信頼される人間性を育みます。

最後に、教職員一同、皆さんのこれからの人生に心からの祝福を贈ります。和歌山大学で培った知識と経験を胸に、自信を持って前進してください。皆さん一人ひとりの挑戦と活躍が社会に新しい光をもたらし、未来を切り拓く原動力となることを強く願っています。

本日は誠にありがとうございます。

令和7年9月26日  
和歌山大学 第18代学長 本山 貢

